

## 自己更新を目指し児童ら力泳 第20回洞爺湖町水泳大会開く

**第**20回洞爺湖町水泳大会が洞爺湖町民プールで開かれ、児童、生徒ら約50人が参加して、各種目に挑戦しました。

同大会は、相手と競い合うレース方式ではなく、自己記録の更新をめざすタイムレースで、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの各25、50、100など、15種目のレースが繰り広げられました。

レースでは大会記録も多く出され、場内に「大会新記録です」とのアナウンスが流れると応援の父母などから大きな拍手がプール全体に響いていました。



スタート良く飛び込む選手

9月8日  
洞爺地区の小、中、高生による清掃活動「クリーン洞爺」が今年も行われ、洞爺湖畔や地区



洞爺湖畔のゴミを拾う児童・生徒ら

内の地域を約250人の児童、生徒、先生らが清掃し、町の環境整備に一役買いました。

地域の環境保全と美化を通じ児童生徒一人ひとりが、環境に関心をもってもらうと平成8年から開始。

当日は、とうや小学校グラウンドでの開会式を終え、小学生、中学生、高校生を一組にした班が12地区に分かれ、地区内全域のゴミ、空カン、ペットボトルなどを拾い集めました。

## 地域の環境美化で心も磨く クリーン洞爺



熱心に講演を聞く虻田中全校生徒

**道**徳の授業に力を入れている虻田中学校で「人との関わりについて」と題した講演会が9月8日同校の体育館で開かれ、全校生徒約180人が、真剣な表情で講演に耳を傾けました。

同校の今年度の全学年共通テーマは「他人とのかかわり」となっていて、そのテーマにそって埼玉県为学校法人翠ヶ丘学園理事長の田中親男さんが講演を行いました。

内容は、日本に招いたカンボジアの子どもたちとの触れ合いについての話しの中で「貧しいながらも心は豊かだった。人間にとっての心の豊かさは、なによりも大切」だと強く訴えました。

## 「心の豊かさを大切に」 虻田中学校で講演会

## 洞爺八幡神社鎮座120年 先人の苦勞を偲ぶ

**三**橋政之氏を団長に、香川県丸亀藩移住民76名が現在の洞爺地区に入り、開拓を始めたのが明治20年。その2年後、移住民の信仰のよりどころとして、洞爺八幡神社が鎮座され、今年120年を迎えることになりました。

同神社例大祭の前日9月14日には、鎮座120年の記念式典が行われ、氏子や来賓など約30人が参加。

神人和楽と彫られた記念碑の除幕を行い、先人の苦勞を偲び改めて120年という歴史の重みをかみ締めました。



記念碑を囲んで記念撮影する関係者

# まちのわだい